

石原颯一郎(吉川出身 関西学院高校)が 男子個人戦で5位入賞

第63回兵庫県高等学校剣道大会・ 第27回高砂市長杯争奪高等学校剣道大会

「第63回兵庫県高等学校新人剣道大会、第27回高砂市長杯争奪高等学校剣道大会」は、11月25日(金)・26日(土)・27日(日)の3日間、高砂市総合体育館を会場に行われ、県下の精鋭が覇を争った。

初日は男女の個人戦、三木市出身の選手としては、滝川第二、赤松伸哉(志染)、社、橋間祐生(吉川)、関学、石原颯一郎(吉川)、三田祥雲館、三藤暢子(吉川)などが出場した。男女とも同じ高校同士の決勝戦となり、男子は育英の横藤竜平が同僚の藤田知也を下し優勝。女子も関学同士の争いとなり、大西真奈未が優勝、植田華加が準優勝した。

関学の石原颯一郎は5位に入賞。翌26日は男子の団体戦。県下87チームが接戦を繰り広げた。ここで残念なことは、我が三木市の3高校(三木・三木東・三木北)が選手の不足から出場すらしていないことで、誠に寂し

いことであった。唯一、4名で出場した吉川高校が、但馬の名門八鹿高校を相手に健闘したこ



いざ出陣の吉川高校チーム

とが話題になった。大将の池田聖彬以外高校で初めて竹刀を握った者ばかり、試合には敗れたものの、粘り強く戦った。個人戦にも出場した、前記の3名は、赤松伸哉が滝川第二高校の次鋒として、石原颯一郎が

関西学院高校の中堅として、橋間祐生が県立社高校の大将として出場し、それぞれがめざましい活躍をした。石原の関学チームは、赤松の滝川第二を代表戦で下し、ベスト4に。優勝した育英高に準決勝で敗れ、3位入賞。滝川第二高は5位に入った。



先鋒の松崎選手 (左)

橋間の社高校は2回戦で敗れた日曜日の女子団体では、三木東高校チームが唯一出場した。しかし、このチームも4名でしか全員1年生。小野も3名、小野工業も3名と各校とも選手層の浅さを嘆く。三木東は神港学園に敗れて、1回戦で姿を消した。優勝は私学の関学、東洋大姫路、甲子園、須磨学園が争い、関学が優勝した。三藤暢子が中堅をつとめる三田祥雲館高校はベスト16に入った。

平成28年の稽古納め 小学生から大人まで

130人が参加

平成28年12月23日(金)、当連盟の稽古納め会が、三木市民体育館で早朝8時30分より一般会員と小・中・高校生合計130人が集まって盛大に行われた。参加者は、まず体育館の周りや体育館内に分かれて清掃活動に取り組んだ。小学生たちは、手



手に雑巾をもって床の拭き掃除に挑戦。端から端まで一斉に競争しながら掃除をした。掃除を終えると9時30分より稽古開始。準備体操に続き成人の先生方が小学生を受けた。小学生には切り返しを重点的に稽古をつけたが、先生方が元太刀に立たれ稽古場所が足りないほどだった。



その後、中学生、高校生、一般の稽古へと続き、11時30分に閉幕。参加者は一年の締めくくりに気持ちのいい汗をか

いた。